

県立産業技術短期大学校

都留キャンパス開校



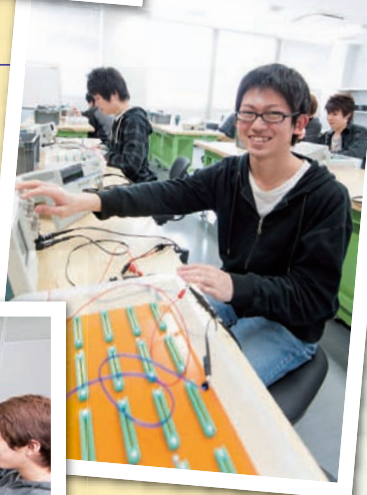
ものづくり人材の育成で県内の産業界から高い評価を得ている県立産業技術短期大学校。4月には、新たに都留キャンパスが開校しました。
生産技術科、電子技術科の2科を設置したこのキャンパスでは、地元、谷村工業高校や富士北稜高校など工業系高校と連携した一貫型教育プログラムを実施し、富士・東部地域の産業界のニーズに応える専門技術と知識を備えた人材を育成していきます。



電子技術科

新生の「夢」は…

電子制御されたおもちゃを作り子どもたちに「夢」を与えたい。
卒業したら、ここ富士・東部地域の企業に就職し、貢献していきたい。
人を笑顔にできるようなものづくりをしていきたい。



都留にキャンパス開校

富士・東部地域は機械電子関係の製造業が多く、県全体の約3割を占めています。そうした地元産業界などから、将来を担う技術系の人材を育成してほしいとの要望を受け、開校しました。

生産技術科と電子技術科を設置

生産技術科では、機械部品を作ったり、それを組み立てて動かしたりするために、設計技術、加工技術、さらにはロボットを含む自動化技術などを身に付けます。CAD/CAMシステムを用いての機械設計や部品加工プログラムの作成なども学びます。

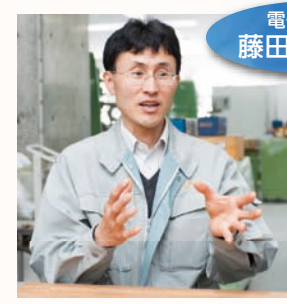
一方、電子回路の製作、設計などを中心に学べるのが電子技術科です。現在の産業用ロボットは、電子回路をプログラムによって制御しています。先進のシミュレータを使って電子回路を作ったり、マイクログコンピュータを用いたシステムの制御を学び、実際にプログラムを作成して機械を制御するまでを履修することになります。

工業系高校との連携による一貫型教育

連携した工業系高校と合わせて5年間、高等専門学校並みの授業を目指していきます。工業系高校出身の学生は、すでに専門知識や技術を学んできているので、より高いレベルの技術を2年間で身に付けていきます。



生産技術科 松田 剛先生



電子技術科 藤田卓志先生

富士・東部地域の「ものづくり産業を担う人材」を育てる。

普通高校出身者にも対応したカリキュラム

普通科や総合学科出身の学生には、工業系科目の基礎を学ぶ補習等を行うなど、スムーズに専門科目の履修ができるような配慮をしています。普通高校からの入学も大歓迎です。

エンジニアを育てる授業

本校は最新のマシンやコンピュータシステムなどを整備しています。学生たちは、それらを自在に操って、「あったらいいな」と思う機械を設計し、加工し、組み立てていくことができます。すごく楽しいと思います。私たち教員も、ものづくりの醍醐味を感じてもらえるような指導を行っていきたくと思っています。

学生たちへメッセージを

単に知識を詰め込むだけでなく、いつでも自分の考えに応用できるような「なぜ、そう考えるのか?」なぜ、そういうやり方をするのか?」の「なぜ?」の部分＝本質の部分をしっかり理解して確かな力を身に付けていきましょう。



生産技術科

新生の意気込みは…
自分の作った部品が製品になる。そこから、いろいろな動きが生まれていく。そして、世の中が便利になる…。そう思うと、ワクワクしてくる。

小さいころから、ものづくりが大好きだったので最新マシンを操作できることに感謝。毎日が充実。



オープンキャンパスに行ってみよう!

7月14日(日)・8月25日(日)
12月8日(日) ※各日とも午前10時~



〒402-0053 都留市上谷5-7-35 TEL 0554-43-8911

塩山キャンパスでも実施
7月7日(日)・8月18日(日)・12月1日(日)